

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

4. JP 3051031 U (Individual; Yasuhiko Yamada) " Underslung Waste Bag ",
May 20, 1998

(Abstract)

(*) PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an underslung waste bag at a low price, that has a simple structure, can be easily hooked up, and can be used sanitarly.

(*) SOLUTION: This invention relates to a ring-shaped holder supported by a supporting arm and a waste bag that has a bit smaller diameter than the peripheral diameter of the ring-shaped holder. In engaging the bag to the ring-shaped holder, the ring-shaped holder is first inserted into the bag edgewise, and the bag is then caused to erect upright relative to the face of the ring-shaped holder with the bottom thereof positioned upwards.

Afterwards, the bag is caused to move downwards to pass through the interior space of the ring-shaped holder while it is turned inside out.

As the method for forming the **smaller diameter open edge 5** of the waste bag is desirable to form **heat sealed** parts 13 to be symmetrically disposed at the both sides at proper portions in the long-direction of the sheet-like film 11 as shown in Fig. 6(a).

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

第3051031号

(45) 発行日 平成10年(1998) 8月11日

(24) 登録日 平成10年(1998) 5月20日

(51) Int.Cl.⁸

識別記号

F I

B 6 5 F 1/14

B 6 5 F 1/14

A

B 6 5 B 67/12

B 6 5 B 67/12

Z

評価書の請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 8 頁)

(21) 出願番号 実願平10-301

(22) 出願日 平成10年(1998) 1月30日

(73) 実用新案権者 594175951

山田 康彦

山梨県甲府市湯村2丁目4番22号

(72) 考案者 山田 康彦

山梨県北巨摩郡双葉町竜地2529番地

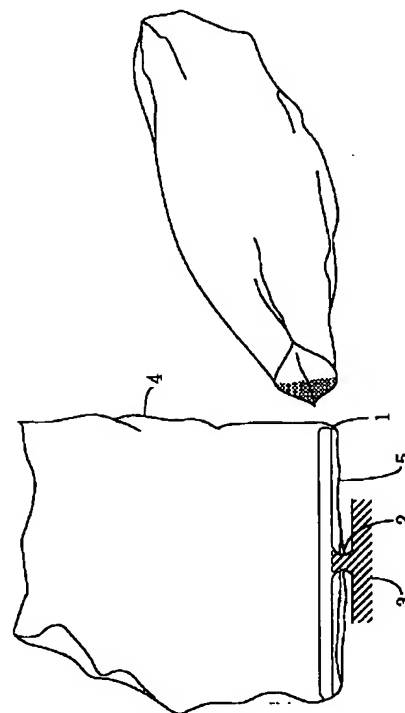
(74) 代理人 弁理士 土橋 博司

(54) 【考案の名称】 吊り下げ式ごみ袋

(57) 【要約】

【課題】構造が簡単で安価な上、ごみ袋の取り付けが容易であり、なおかつ衛生的である吊り下げ式ごみ袋を提供しようとするものである。

【解決手段】支持アームによって支持されたリング状ホルダと、開口端部をリング状ホルダの外周よりもやや小さい内径とされ、かつ開口端部をこのリング状ホルダの外周にはめ込んだごみ袋とを備えるとともに、ごみ袋をリング状ホルダ内を通して裏返して使用するようにしたことを特徴とする吊り下げ式ごみ袋。



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 支持アームによって支持されたリング状ホルダと、開口端部をリング状ホルダの外周よりもやや小さい内径とされ、かつ開口端部をこのリング状ホルダの外周にはめ込んだごみ袋とを備えとともに、ごみ袋をリング状ホルダ内を通して裏返して使用するようにしたことを特徴とする吊り下げ式ごみ袋。

【請求項2】 リング状ホルダが、支持アームによって首振り可能に支持されている請求項1に記載の吊り下げ式ごみ袋。

【図面の簡単な説明】

【図1】 この考案の吊り下げ式ごみ袋における組み付け前の概略図である。

【図2】 リング状ホルダへのごみ袋の開口端部を取り付け方を示す概略図である。

【図3】 取り付けけた段階を示す概略図である。

【図4】 ごみ袋を裏返す段階を示す概略図である。

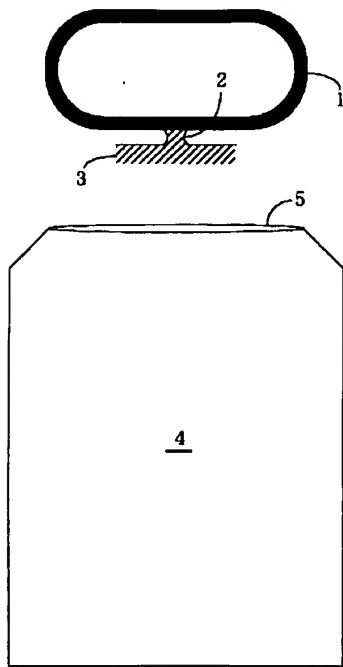
【図5】 ごみ袋の取り付け完了段階を示す概略図である。

【図6】 この考案において使用可能なごみ袋の例を示す概略図である。

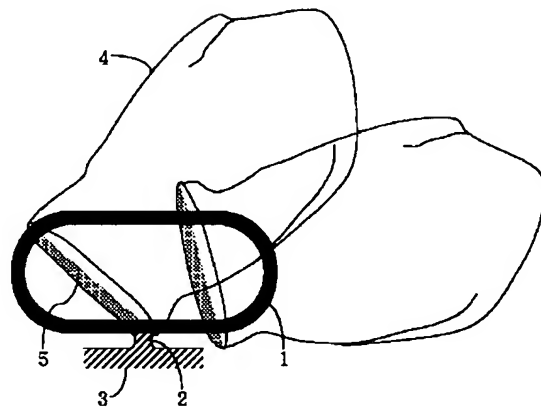
【符号の説明】

- 1 リング状ホルダ
- 2 支持アーム
- 3 テーブル
- 4 ごみ袋
- 5 開口端部
- 11 筒状フィルム
- 12 シン目
- 13 ヒートシール部

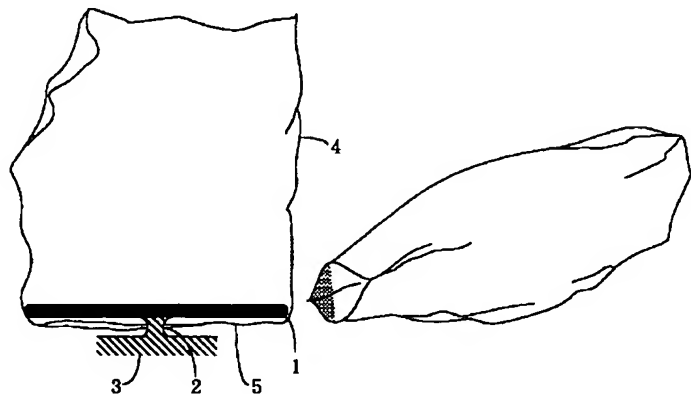
【図1】



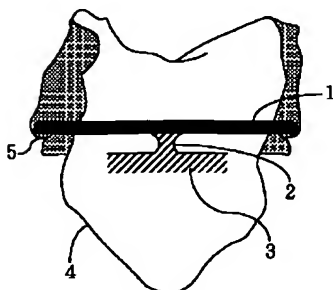
【図2】



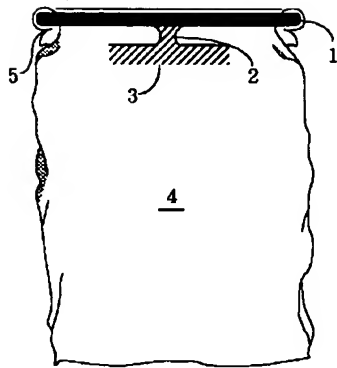
【図3】



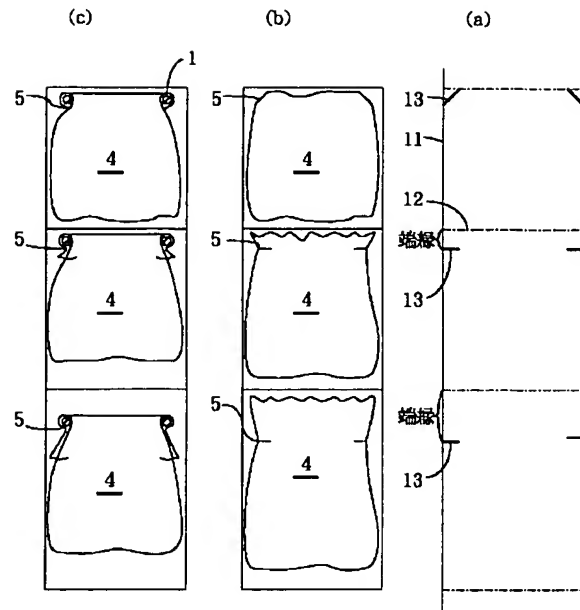
【図4】



【図5】



【図6】



【考案の詳細な説明】

【0001】

【考案の属する技術分野】

この考案は構造が簡単で、しかもリング状ホルダへのごみ袋の取り付けが容易であり、なおかつ衛生的である吊り下げ式ごみ袋に関するものである。

【0002】

【従来の技術】

従来、吊り下げ式ごみ袋としては、特開平7-35403号公報のように支持アームによって支持された円形リングと、円形リングに開口端部をはめ込んだごみ袋と、円形リングにはめ込んだ押さえリングでごみ袋の開口端部を固定するようにしたものが知られている。このようなごみ袋を円形リングに吊り下げる方式のものは他にも考案されているが、基本的には大同小異である。

【0003】

このような従来の吊り下げ式ごみ袋においては、先ず円形リング上にごみ袋の開口端部を被せるようにはめ込み、次いで押さえリングをその上から取り付けることにより、ごみ袋を円形リングに少なくとも2段階で固定するという操作を行なって使用するようになっている。

【0004】

【考案が解決しようとする課題】

しかしながら、上記従来の吊り下げ式ごみ袋においては、円形リングの他に別途押さえリングが必要であるため、円形リングにはめ込んだごみ袋の開口端部を押さえながら、押さえリングを扱う必要があって、その取扱いが非常に面倒であった。

【0005】

また、上記従来の吊り下げ式ごみ袋においては、円形リングとごみ袋の他に別途押さえリングが必要であるため、部品点数が増えて高価になってしまうとともに、押さえリングがこわれたり、紛失しやすいという欠点があった。

【0006】

そこでこの考案は上記従来の問題点を解決するとともに、構造が簡単で安価な

上、ごみ袋の取り付けが容易であり、なおかつ衛生的である吊り下げ式ごみ袋を提供しようとするものである。

【0007】

【課題を解決するための手段】

すなわちこの考案の吊り下げ式ごみ袋は、支持アームによって支持されたリング状ホルダと、開口端部をリング状ホルダの外周よりもやや小さい内径とされ、かつ開口端部をこのリング状ホルダの外周にはめ込んだごみ袋とを備えるとともに、ごみ袋をリング状ホルダ内を通して裏返して使用するようにしたことを特徴とするものである。

【0008】

この考案の吊り下げ式ごみ袋は、上記リング状ホルダが、支持アームによって首振り可能に支持されていることをも特徴とするものである。

【0009】

この考案の吊り下げ式ごみ袋は以上のように、所定の外形のリング状ホルダと、ごみ袋とのみで構成したものであるため、ワンタッチでごみ袋の開口端部をリング状ホルダにはめ込むことができ、その取扱いが非常に簡単にできるようになった。

【0010】

またこの考案においては、所定の外形のリング状ホルダと、ごみ袋の他には何も必要ではないため、構造が簡単で安価な上、衛生的である吊り下げ式ごみ袋を提供することができるようになった。

【0011】

【考案の実施の形態】

以下、この考案の吊り下げ式ごみ袋の実施の形態について、図面に基づき詳細に説明する。

【0012】

図1ないし図5はこの考案の吊り下げ式ごみ袋の1実施例を示すものであり、図1は組み付け前の概略図、図2はリング状ホルダへのごみ袋の開口端部を取り付け方を示す概略図、図3は取り付けた段階を示す概略図、図4はごみ袋を裏返

す段階を示す概略図、図5はごみ袋の取り付け完了段階を示す概略図である。

【0013】

この考案の吊り下げ式ごみ袋を示す図1において、1は、例えばテーブル3等へ支持アーム2を介して取り付けられたリング状ホルダである。このリング状ホルダ1と支持アーム2とは、支持アーム2の端部に設けた中空円筒状のスリット入り保持部（図示せず）にリング状ホルダ1をはめ込んだり、軸および軸受けをそれぞれに設けて軸着したりすることによって、リング状ホルダ1を適宜首振り可能に連結している。

【0014】

またリング状ホルダ1は、全体としてほぼ楕円形をなしていることが望ましいが、短軸と長軸との比が1：2以内となっていて、各隅がRであればごみ袋4のリング状ホルダ1への取り付ける操作がしやすい。なお支持アーム2はリング状ホルダ1の長軸側のほぼ中間位置において、リング状ホルダ1に連結することが望ましい。

【0015】

また上記リング状ホルダ1として、円形の外形を持つものとしても何ら問題はない。

【0016】

上記リング状ホルダ1に取り付けられるごみ袋4は、リング状ホルダ1の外径よりもやや小さい内径の開口端部5を備えていることが必要である。このごみ袋4としては、複数枚を開口部分で束ねたシート状のものが望ましく、これをリング状ホルダ1の近傍に取り付けておけば、1枚ずつ引き剥がしながら使用することができ、非常に便利である。

【0017】

この考案の吊り下げ式ごみ袋の使用に際しては、図2に示すようにリング状ホルダ1を支持アーム2の軸方向に沿ってほぼ垂直に立てておき、ごみ袋4の開口端部5を開いて、リング状ホルダ1の長軸側の一方の端部、すなわち幅の狭い方からはめ込んで行き、一端をリング状ホルダ1の長軸側のほぼ中間位置まではめ込みながら、他端を長軸側の他方の端部にはめ込む。

【0018】

ごみ袋4の開口端部5をリング状ホルダ1の外周にはめ込み終わると、ごみ袋4の開口端部5はリング状ホルダ1の外径よりもやや小さい内径であるため、リング状ホルダ1の外周に密着状態で保持される。

【0019】

次いで、図3のようにごみ袋4と一緒にリング状ホルダ1を約90度首振りさせて水平に保持するとともに、図4に示すようにごみ袋4の中央を上部から押し下げるにより、リング状ホルダ1内を通して裏返す。

【0020】

最後に、図5のように完全にごみ袋4をリング状ホルダ1内を通して裏返すと、ごみ袋4は開口端部5をリング状ホルダ1の外周に保持された状態でリング状ホルダ1に吊り下げられる。

【0021】

そして、このごみ袋4に種々のごみを投入し、いっぱいになったらごみ袋4を持ってリング状ホルダ1から引き抜けばよい。するとごみ袋4のリング状ホルダ1の外周に密着状態で保持されていた開口端部5は簡単に外れるので、その開口端部5を結束等によって閉じれば、あとは所定の場所へ投棄するだけである。無論、上記リング状ホルダ1には次のごみ袋4を、上述のようにして取り付ければよい。

【0022】

上記ごみ袋4としては、図6(a)に示すように連続する筒状フィルム11を、シート状にしてミシン目12で所定の長さに切断できるようにしたものが、便利に使用することができる。この場合、ごみ袋4にリング状ホルダ1の外径よりもやや小さい内径の開口端部5を備えさせるための加工方法としては、図6(b)に示すようにシート状にした筒状フィルム11の長さ方向の適宜位置に、その両側に対向するようにヒートシール部13を形成することが望ましい。

【0023】

その際、上記ヒートシール部13の筒状フィルム11の長さ方向の位置を変えることにより、図6(c)に示すようにリング状ホルダ1の外径よりもやや小さ

い内径とした開口端部5の端縁の長さを調節することが可能である。なお、このように開口端部5の端縁の長さを大きくしてエプロン状にしておけば、ごみ袋4がいっぱいになった際にエプロン部分を持つことができ、ごみ袋4が閉じやすくなる。もちろんヒートシール部13の向きは、図のような斜めでも、筒状フィルム11の長さ方向に直角であってもよい。

【0024】

上記ヒートシール部13を形成する位置を変えることにより、図6(a)に示した開口端部5の端縁の長さを変える場合、筒状フィルム11自体の寸法をも長くしておき、そのためにごみ袋4の容量が小さくならないようにしておくことが望ましい。

【0025】

この考案の吊り下げ式ごみ袋は、上記支持アーム2を壁面や机上等にビスや両面粘着テープ等によって取り付けることにより、どこにでも設置することが可能である。

【0026】

また各家庭内の台所や居間、書斎等のみならず、種々の事業所の事務室や作業所においても手近に使用することができ、その環境を衛生的に維持することができるものである。

【0027】

【考案の効果】

この考案の吊り下げ式ごみ袋は以上のように、所定の外形のリング状ホルダと、ごみ袋とのみで構成したものであるため、ワンタッチでごみ袋の開口端部をリング状ホルダにはめ込むことができ、その取扱いが非常に簡単にできるようになった。

【0028】

またこの考案においては、所定の外形のリング状ホルダと、ごみ袋の他には何も必要ではないため、構造が簡単で安価な上、衛生的である吊り下げ式ごみ袋を提供することができるようになった。